**ごあいさつ**

私、このほど「彦根城の桜」と題する写真集を出版しました。この写真集は2010年から2016年までの7シーズンにフィルム撮影した彦根城の桜の風景写真の中から63点を選んで構成したものです。全国のお城の中でも優れているこの桜の景観を、より多くの人に知ってもらい、文化・観光都市「彦根」の活性化につながればと願って出版しました。

なぜ2010年かといいますと、私は高校まで彦根に住んでおりましたが、進学・就職で45年間、彦根を離れていました。仕事を終え、2010年春、63歳の時に生まれ故郷の彦根に戻ってきたとき、この美しい桜の風景を写真で残そうと思いたちました。高校が城内にあった関係で、彦根城の桜の風景が脳裏に焼き付いていたようです。

桜は青空が似合います。しかし天候は思い通りにはいきません。黄砂の日もあれば、近年はＰＭ2.5に覆われる日もあります。こんな日は写せません。その結果、2016年まで７シーズンもかかってしまいました。

ところで、彦根城の桜は大半がソメイヨシノで、約1200本あります。まとめて植えられてから80年以上経っており、だいぶ弱ってきています。枯れていく木もあります。彦根城は特別史跡ですので、その域内では桜が枯れたからといって、代わりを植えられません。石垣など文化財を守るためです。そこで今ある桜を、いかに長生きさせるかが重要になってきます。この写真集は、桜の現状の記録でもあります。

2017年3月

風景写真家・中村 憲一